

令和4年度えひめスカウトクラブ活動状況報告

I 諸会合

6.11	4年度総会	22名参加。1~6号議案すべて可決 児玉会長、今城名誉会長の新体制となる。
9.3	第1回役員会	新型コロナウイルスの関係で中止
12.18	第2回役員会	9名が参加 愛媛文教会館
12.18	懇親会	新型コロナウイルスの関係で中止
3.18	会計監査	4名が参加 余土公民館
3.25	第3回役員会	20名が参加 生涯学習センター

II 活動方針に基づく取組

1 会員獲得に努め財政基盤を確立する。

- 役員が中心となって会員の勧誘に努め、個人会員85名、法人会員15名、計100名を目指す。
 - 個人会員は12名の新会員を迎える、91名となった。
 - 法人会員は10企業のうち今啓パールの今井氏の死去により、9企業となった。

2 県連盟の行事や運営を支援する。

- 第18回日本スカウトジャンボリー中国・四国ブロック愛媛会場に参加（見学参加）し、スカウトを激励する。→ 新型コロナウイルスの関係で大会が中止となった。
- 富士スカウト顕彰式・ボーイスカウト研究発表会に参加し、スカウトを激励する。
 - 昨年同様リモート開催となった。
- スカウトクラブから賞を授与することについては、県連盟と重ならないような観点から対象を検討し、優秀個人賞として新居浜2団の渡部航也氏、優秀団賞として今治第5団と大洲第1団を表彰することとした。
- 県連盟の運営を支援する。
 - 50,000円を補助した。
- 県連盟賛助会に入会し、会費を納入する。
 - 法人4口100,000円を納入した。
- 日本連盟維持会員になり、会費を納入する。
 - 40,000円を納入した。（指導者養成費として県連盟に半額還元）
- 日本連盟創立100周年記念募金に5万円を寄付した。
 - 日本連盟から感謝状が届いた。

3 会員相互の親睦を深めながら本クラブの運営等についてアイディアを出し合う。

- 12月に懇親会を開催し、親睦を深める。
 - 新型コロナウイルスの関係で、会食を伴う懇親会を中止した。

4 定期的に情報を発信する。

- 情報紙「スカウトクラブ通信」を年2回発行する。
 - 5月に第3号、11月に第4号を発行した。
 - また、全会員に総会案内と懇親会案内を送付した。
- 県連のホームページにえひめスカウトクラブの情報を掲載する準備を進めている。